

研修農場の整備による新規就農者誘致・育成

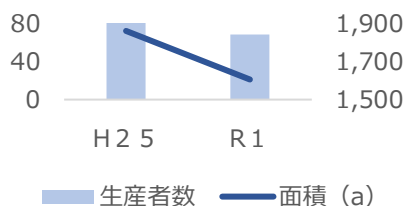
- ＪＡあいち三河管内の主要品目である「いちご」の産地規模が縮小傾向となっていた。
- 令和元年よりいちご塾を開講し、新規就農者確保・育成に取り組む。
- 新規就農者誘致環境整備事業を活用し、研修用施設整備に取り組む。
- 事業活用により令和７年度までにいちご新規就農者１８名を確保し、産地の維持活性化に寄与している。

【位置図】



取組前

- 高齢化・後継者不足により産地の規模縮小が進んでいた。
- 新規就農者向けの農地確保が困難で、誘致も困難。
- 遊休農地の有効活用ができていない。



いちご	生産者数	面積
H25	83	1,859
R1	68	1,605

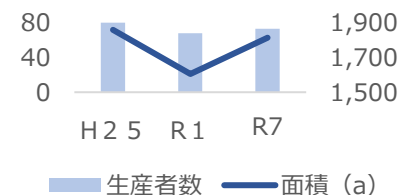
取組内容

- 将来の農地受け手が位置付けられていない農地を選定
- いちご塾の新規就農者向け研修農場整備(34a)を行った。
- 研修農場では環境モニタリングシステムを活用し、勘ではなく数値で栽培を理解できるよう研修を行った。



取組後(成果)

- 建設した研修ハウスで、新規就農者２名が実践的な研修を行った。
- 遊休農地にハウスを建設し活用することができた。
- 産地全体の約２５％が新規就農者となり大きな戦力に。
R10までに就農者３０人目標



いちご	生産者数	面積
R7	73	1,814
うち新規	18	315.3

【誘致体制】

- いちご塾
研修調整：ＪＡ
(研修全般の運営)
実習：生産部会、ＪＡ
(農家ほ場・ＪＡ研修施設)
講義：県普及課・経済連
(座学・視察等)
就農準備：県・市町・ＪＡ
(農地確保・施設確保等)
農業基礎：県農業大学校
(農業全般基礎・仲間づくり)

新規就農者や研修生の声

- 研修制度により地域や農家との繋がりができ、就農に向けての準備がしやすかった。
- 研修ハウスで実際に栽培することで、栽培のイメージがしやすかった。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和７年度

【問合せ先】ＪＡあいち三河（営農企画課）

TEL：０５６４－５５－２９９４

E-mail：einoukikaku@ja-aichimikawa.or.jp

HP：<https://www.ja-aichimikawa.or.jp/>